

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

昨年も、新型コロナウイルス感染症対策をはじめ、市政運営にご理解・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

市制施行50周年を迎えました本市を築いてこられました全ての人々への感謝と郷土愛を深めながら、「住みたい・住み続けたい」と思える令和の交野を目指して今年も市政に取り組んで参ります。

引き続き、ご支援・ご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝・ご多幸を心よりお祈り申し上げます。

交野市長 黒田 実

市制施行50周年記念

繋がることで広がる未来 かたの創造フォーラム

交野市は昨年11月3日に市制施行50周年を迎えました。これを記念して11月6日に「繋がることで広がる未来」をテーマにかたの創造フォーラムを開催し、京都大学大学院の藤井聡教授をはじめ、交野の未来の発展に深く関わる方々をお招きし、これからのまちの未来像やまちのポテンシャルについて意見を交わしました。今回は、フォーラムの概要をご紹介します。

特別講演「みちでひろがる、まちの発展について」

講師 京都大学大学院 工学研究科 藤井 聡教授

1 まちの活性化を生み出す道路、鉄道

今日の話は道が広がって、地域が発展していくというものです。

交野市には、京阪・JRといった鉄道インフラや国道と府道といった道路インフラが都心である京都・大阪・奈良に接続しています。この接続性がなければ、大阪や京都の都市化エネルギーが、交野に流入することもなく、交野市が誕生した時の人口約3万人は、その後の人口減少期により2万人となっていたかもしれせん。

人口が2万人だと、2万人なりに頑張りますが、同級生も少なく、まちのエネルギーも小さいでしょう。

まちのエネルギーというのは、一生を左右するものであり、そのエネルギーを保障・活性化したのは、道路や鉄道といったインフラです。

普段、道路や鉄道を使うことで、歴史がどう変わるのかを考える機会は少ないと思います。

京都大学ではインフラの研究をしており、道路の意味、歴史や影響を考えています。

2 高速道路の効果

商業年間販売額（昭和56年～平成18年）によると、高速道路周辺の地域の店舗は、年間販売額が約3倍に増加しており、商業が活性化しています。一方で、高速道路が周辺にない地域の店舗は、年間販売額が1～1.5倍あるいは減少しています。

また、高速道路のインターチェンジに乗るまでの時間で商業年間販売額の伸び率を分けた場合、インターチェンジに乗るまでの時間が30分以上かかる店舗は、25年かけて8%しか伸びていないのに対し、

10分未満の店舗は92%も伸びており、約2倍に増加しています。

道路インフラがある場合、売上が増加することが明確にデータで示されており、道路は地域の命運を分けるということが言えます。

さらに、工業製造出荷額によると、高速道路が周辺にない地域の事業所は、伸び率が85%に留まるのに対し、高速道路が周辺にある事業所は伸び率が140%～170%に増加しています。

3 第二京阪道路の重要性

関西には、第二京阪道路があり、これは道路行政的には極めて重要です。

もともと京都と大阪を結んでいたのは、名神高速道路のみであり、よく渋滞になっていました。しかし、第二京阪道路ができたことにより、名神高速道路の渋滞が緩和され、利便性が向上しました。

第二京阪道路の開通前後における沿線地域法人税収はもともと73億円でしたが、開通した13年後には104億円で42%増加しています。第二京阪道路のおかげで、周辺の土地活用が進み、工場、物流センターおよび宅地ができ、経済が活性化し、税収が増えた



わけです。この税収は市民のために使われており、道路ができたおかげで行政サービスが確実に向上しています。

どの自治体でも人口や経済が縮小傾向にあります。この道路によって、その周辺は、縮小幅が減少あるいは良くなっています。

4 つながる、広がる、飛躍のチャンス

今、全国各地が人口減少に悩んでいる中で交野市はチャンスを得ているわけです。この巨大なチャンスを使わない手はないです。

しかも、第二京阪道路はこれで終わりではありません。

第二京阪道路を湾岸線につなげる（淀川左岸線）ようにまっすぐ延ばせば、さらに利便性が向上します。

開発事業者はわざわざ山奥で宅地開発をしません。全国各地を見て、良いところにしか開発をしないわけです。

開発が進むと、人口が増えて、同級生が増えて、まちの活力が大きくなります。まちの活力が大きくなれば、さまざまな商売が出てきて、まち全体が活気づいてきます。

そこで、いろんな人材が出てきて、その人材がまちを支えます。道路はこのポジティブなループの着火剤となります。

道路の価値をしっかりと理解いただき、上手に活用すれば、商売が盛り上がります。商売というのは、金もうけにしか聞こえませんが、その地域の活力やまちのエネルギーです。

また、人間のモラルの根幹にあるのがまちのエネルギーですので、このエネルギーがまち自体を活力のある倫理的で高度なまちにしていけることにつながるということは、たくさんの事例やデータで明らかです。

ぜひ、この高速道路を見守り、活用いただければと思います。